



エンジニア 調査レポート

インフラエンジニア・
SREの動向



本調査のサマリー

本レポートは、Findy会員ユーザーおよび未登録のエンジニアに対して、下記の概要に基づきWebアンケートを実施し、その結果を集計・分析したものです。

※読みやすさを考慮し、自由回答の内容は、元の意味を損なわない範囲で表現を変更しています。

※小数点第2位を四捨五入した数値を表示しています。

※回答者の所属企業のタイプにはWeb系企業や受託企業などが含まれています。大きな傾向が見られる場合を除き、すべての回答結果を集計して表示しています。

調査目的：インフラエンジニアおよびSREに関するアンケート調査

調査期間：2024年8月30日～9月22日

分析対象回答数：232件

調査主体：ファインディ株式会社

調査結果サマリー

- 本調査の回答者の年収中央値は700~800万円。回答者の49.6%が現在SRE職に従事しており、回答者の年齢・年収はやや高め。
- インフラエンジニアの82.1%が、将来のキャリアとしてSREにチャレンジすることに意欲あり。
- 「現職＝SRE」の回答者の46.1%が、過去にインフラ領域・ソフトウェア領域両方でのエンジニア経験を保有。
- 直近で関心のある技術として「Kubernetes」や「AI / 生成AI / LLM」などの技術を挙げる方が最も多かった。
- 直近1~2年のキャリアビジョンとして、インフラエンジニアが「他職種への挑戦」を挙げる方が多い一方で、SREは「現職の技術を磨き極める」

01.調査対象者の概要

- 回答者の年齢・所属
- 回答者の職種
- 回答者のマネジメント状況
- 回答者の年収
- 回答者の年収（エンジニア経験別）
- 回答者の年収（職種別）

02.SREに関する実態調査

- 他職種エンジニアのSREへの転向意向
- 現職「SRE」回答者の経験年数
- 現職「SRE」回答者の所属企業
- 現職「SRE」回答者の経験職種
- GitHubの活用状況

03.利用技術・環境

- 業務利用しているクラウドサービス
- 業務利用しているコンテナサービス
- 業務利用している監視サービス
- 業務利用しているIaCサービス
- 保有している資格
- 現在関心のある技術
- 転職時に希望するSRE組織の規模感

04.キャリア・転職活動

- 直近1~2年のキャリア方針
- 5年後のキャリア方針
- 転職経路
- 転職活動時に志望度が上がるきっかけ

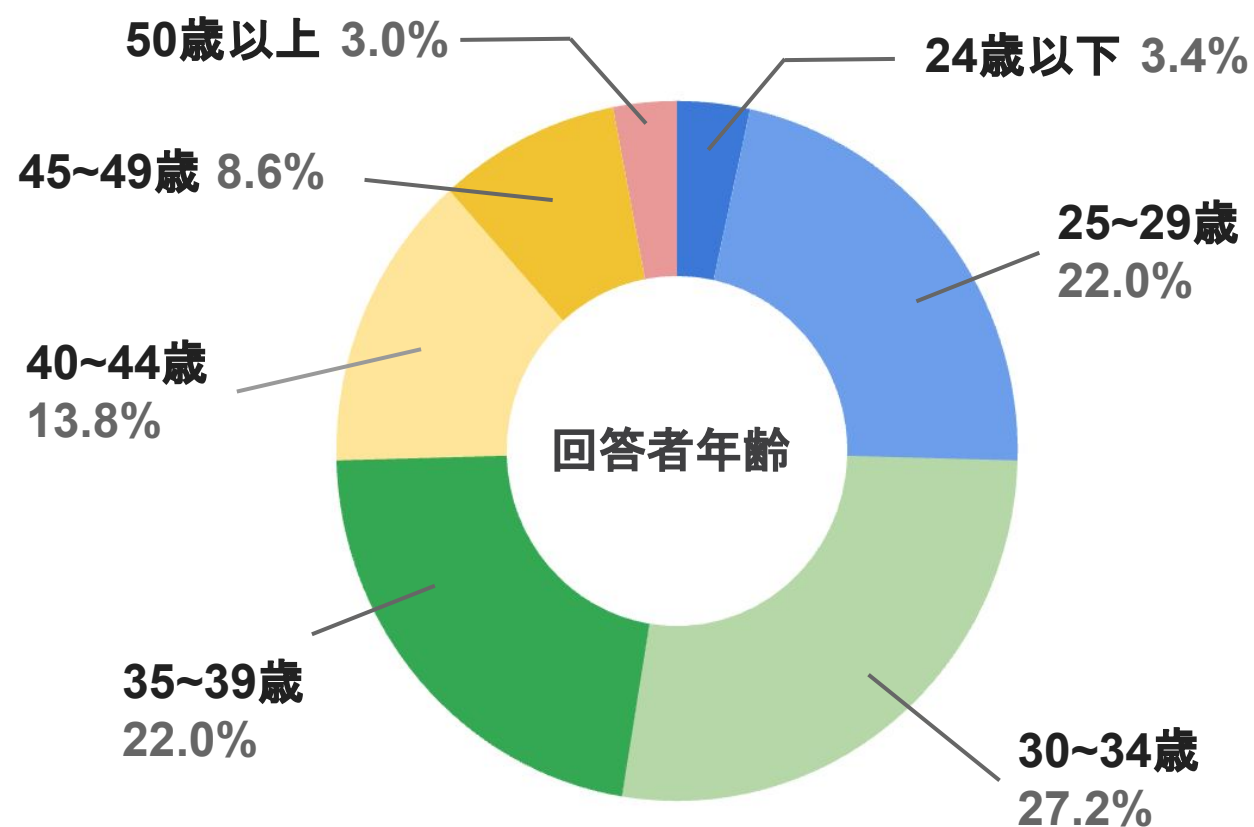
おわりに

ユーザーサクセス面談のご案内

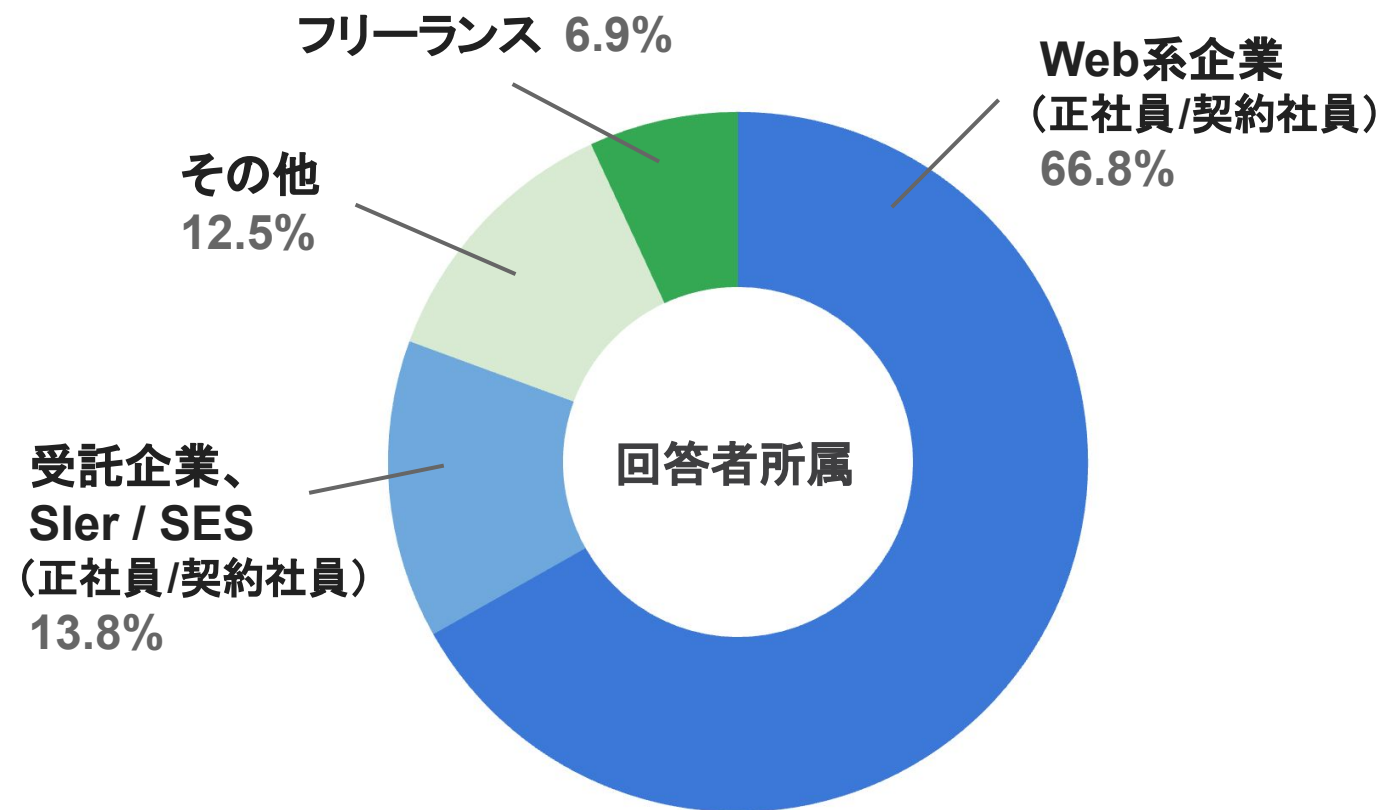
01 調査対象者の概要

調査対象者の約半数が 30代で、20代と40歳以上の比率がほぼ同等。
また、回答者の 2/3がWeb系企業に所属している。

設問 あなたの年齢を教えてください



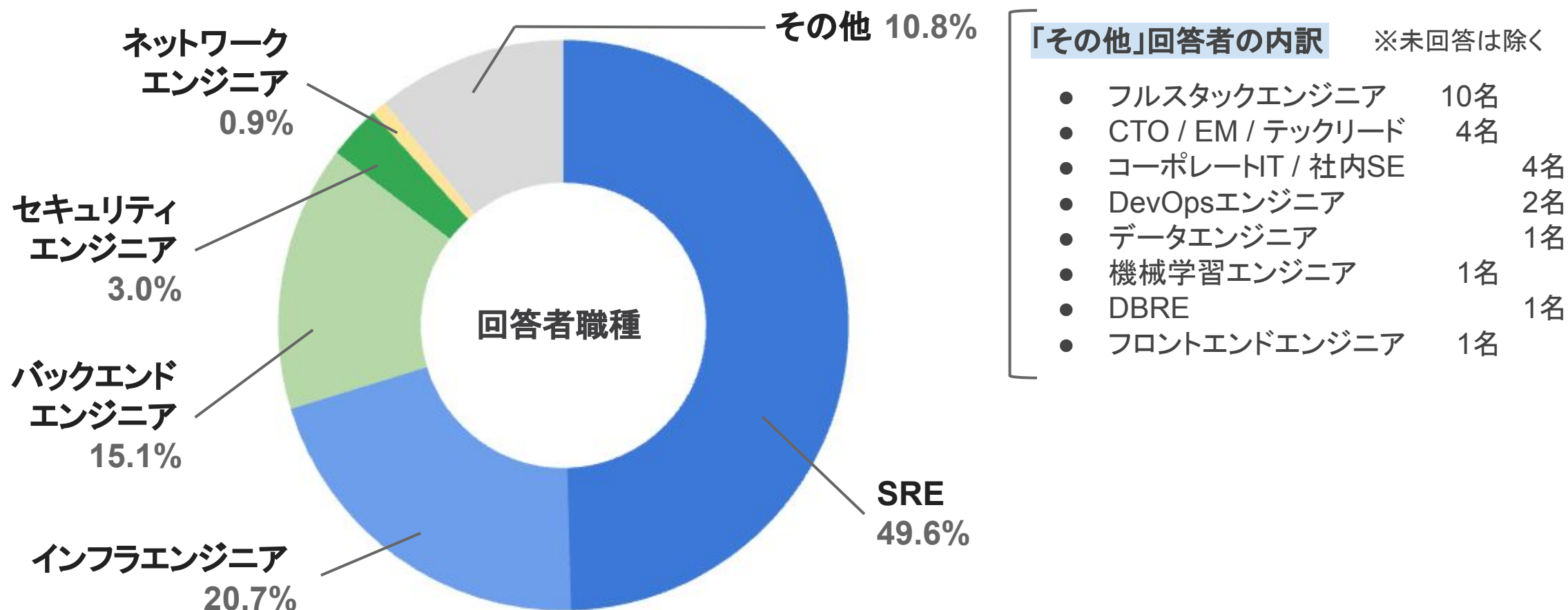
設問 あなたの所属として最も当てはまるものを教えてください



回答者のうちの約半数が現在 SREをメインに働いているエンジニア。
次いで、インフラエンジニア、バックエンドエンジニアの順に母数が多い。

設 問

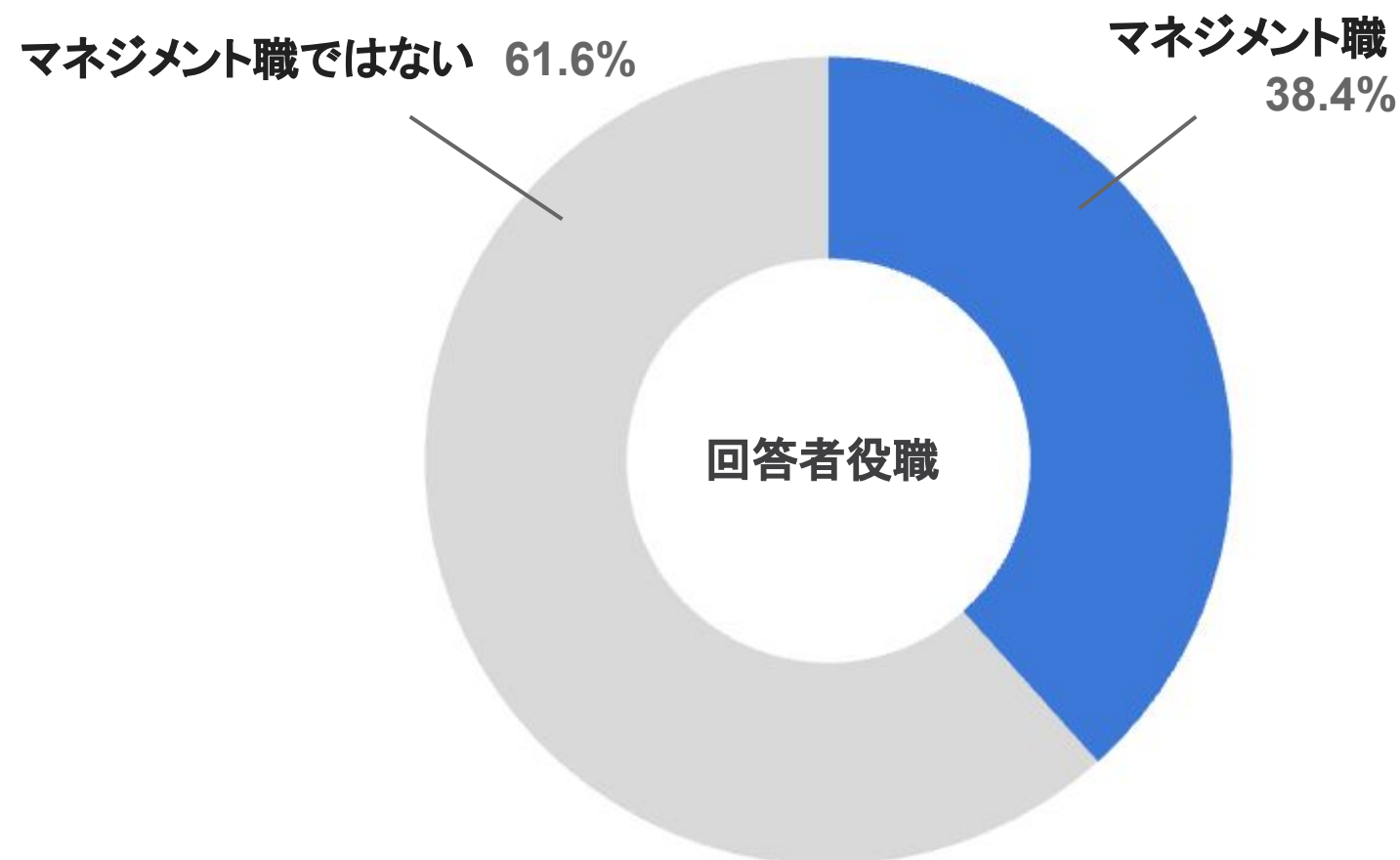
あなたの現在の職種として、最も当てはまるものをお答えください



回答者の38.4%は現職で何らかのマネジメント職種に従事している。
内訳としては、テックリードやエンジニアマネージャーが多い。

設問

マネジメント職に該当する方は当てはまるものをお答えください



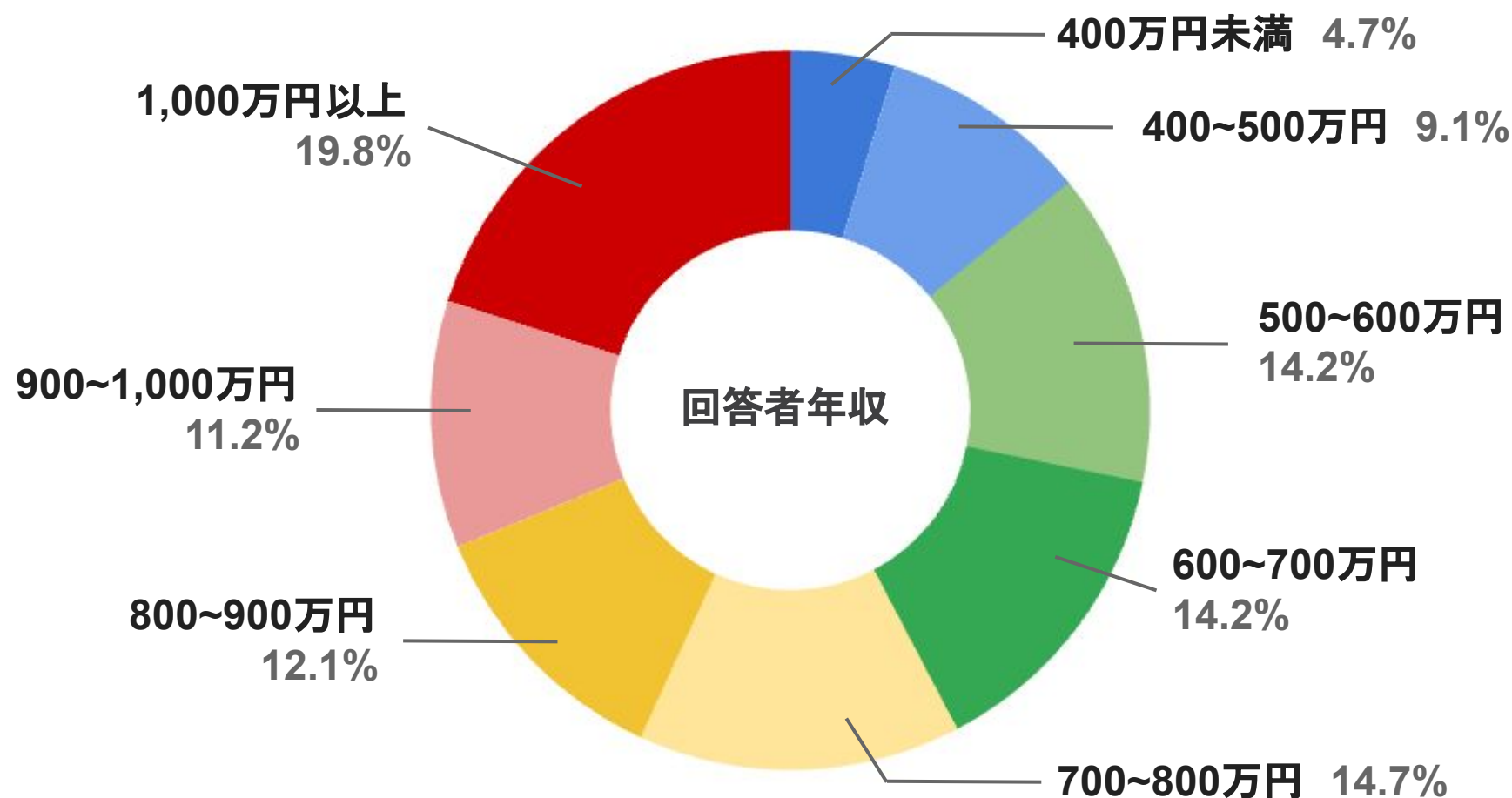
「マネジメント職種」回答者の内訳

- テックリード 32名
- エンジニアマネージャー 31名
- プロジェクトマネージャー 20名
- CTO / 技術顧問 8名
- プロダクトマネージャー 7名
- CEO / 経営者 5名
- 採用PM 3名
- スクラムマスター 2名

回答者の年収中央値は 700~800万円と、従来の Findy調査と比較してもやや高い。
※24年7月に全エンジニア職種を対象で実施した調査での平均年収は 681.0万円

設 問

現在の年収 (本業のみの収入)について当てはまるものをお答えください ※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください



エンジニア経験年数を経るほど年収水準は上がっており、本調査ではエンジニア歴10年以上の回答者が多かったことが前頁の年収水準の上昇に影響している。

設問

現在の年収について当てはまるものをお答えください × エンジニア経験年数(クロス集計)

	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
1,000万円以上	0.0%	0.0%	3.1%	10.3%	17.2%	32.5%
900~1,000万円	0.0%	4.5%	6.3%	3.4%	10.3%	16.7%
800~900万円	0.0%	0.0%	9.4%	13.8%	17.2%	14.0%
700~800万円	0.0%	4.5%	12.5%	24.1%	20.7%	14.0%
600~700万円	0.0%	22.7%	12.5%	24.1%	17.2%	10.5%
500~600万円	33.3%	27.3%	25.0%	17.2%	10.3%	7.9%
400~500万円	16.7%	22.7%	25.0%	6.9%	6.9%	2.6%
400万円未満	50.0%	18.2%	6.3%	0.0%	0.0%	1.8%
	N=6	N=22	N=32	N=29	N=29	N=114

職種別に見るとSREの年収が高く、インフラエンジニア・バックエンドエンジニアと比較して全体の年収を押し上げている。

設問

現在の年収について当てはまるものをお答えください × 現在の職種(クロス集計)

	SRE	インフラ エンジニア(※)	バックエンド エンジニア	その他	全体
1,000万円以上	21.7%	10.5%	20.0%	32.0%	19.8%
900~1,000万円	14.8%	5.3%	8.6%	12.0%	11.2%
800~900万円	13.9%	14.0%	5.7%	8.0%	12.1%
700~800万円	16.5%	14.0%	8.6%	16.0%	14.7%
600~700万円	13.9%	17.5%	14.3%	8.0%	14.2%
500~600万円	12.2%	19.3%	14.3%	12.0%	14.2%
400~500万円	6.1%	5.3%	25.7%	8.0%	9.1%
400万円未満	0.9%	14.0%	2.9%	4.0%	4.7%
	N=115	N=57	N=35	N=25	N=232

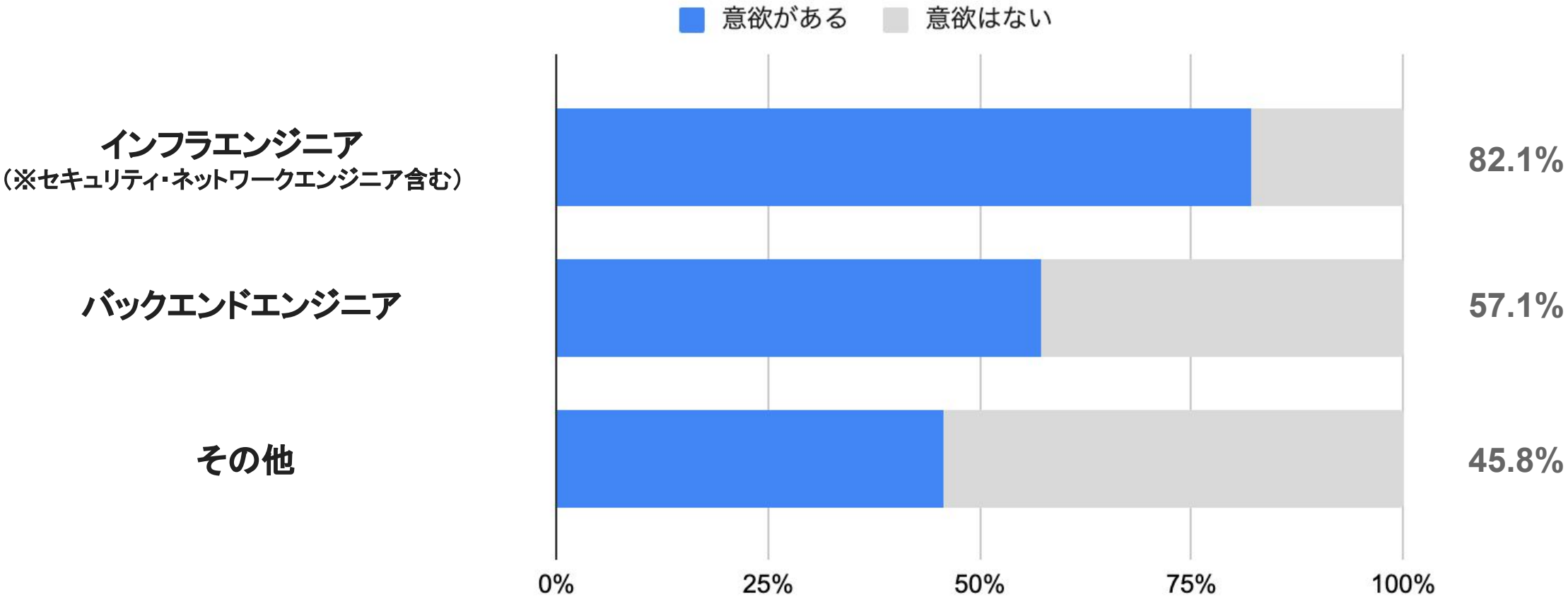
※回答数の少ない「セキュリティエンジニア」「ネットワークエンジニア」の回答は「インフラエンジニア」に含めて集計

02 SREに関する実態調査

インフラエンジニアの 82.1%が将来的なキャリアの選択肢として SREになることを意識している。また、バックエンド職の 5割以上も関心を寄せている。

設 問

将来的に SREになりたい意欲はありますか？



SREとして5年以上働いている方の大半が 10年以上のエンジニア経験を持つ一方、直近SREになった方では、エンジニア歴 5年以内で転身するケースも多く見られる。

設 問

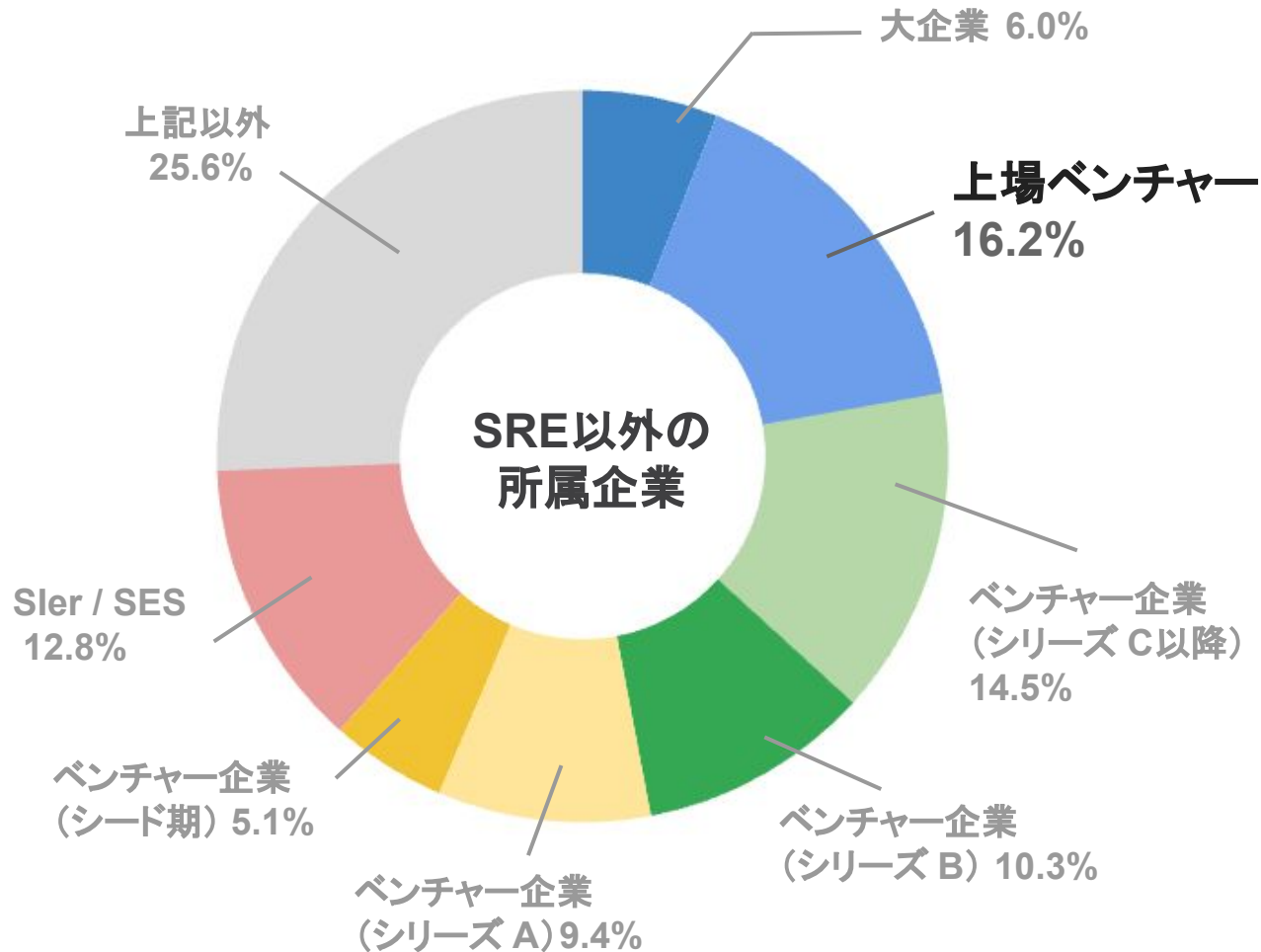
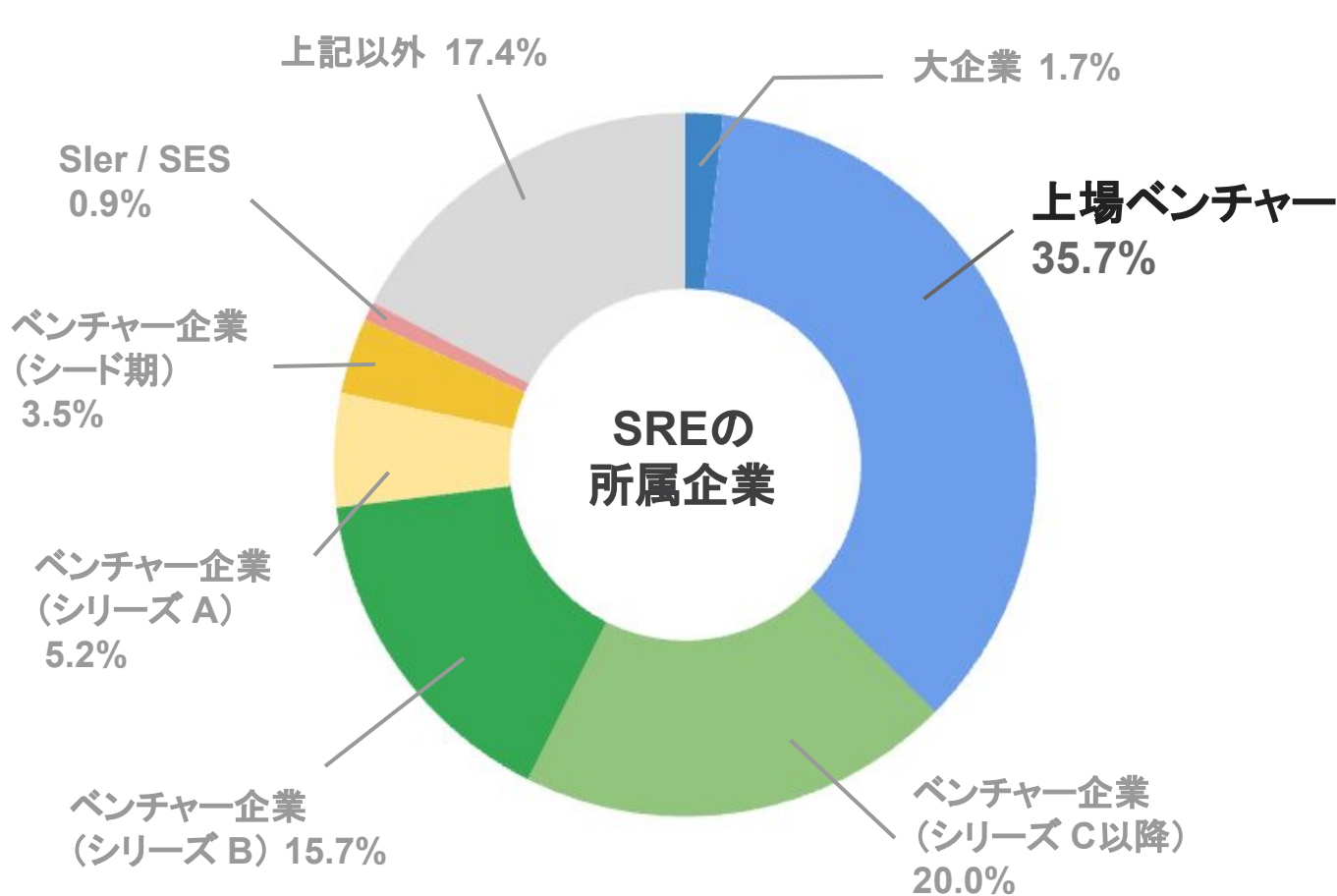
SREとしての経験年数を教えてください × エンジニアとしての経験年数を教えてください （クロス集計）

		エンジニアとしての経験年数						
		1年未満	1~3年	3~5年	5~7年	7~10年	10年以上	
SREとしての経験年数	10年以上	-	-	-	-	-	100.0%	N=2
	7~10年	-	-	-	-	0.0%	100.0%	N=6
	5~7年	-	-	-	0.0%	11.8%	88.2%	N=17
	3~5年	-	-	12.5%	9.4%	28.1%	50.0%	N=32
	1~3年	-	15.4%	12.8%	12.8%	17.9%	41.0%	N=39
	1年未満	5.9%	23.5%	35.3%	11.8%	0.0%	23.5%	N=17

※未回答などについては本集計から除外しています。

一般的なインフラエンジニアと比べ、SREは「上場ベンチャー」に所属している比率が高く、職種のニーズがサービス規模に比例することが想定される。

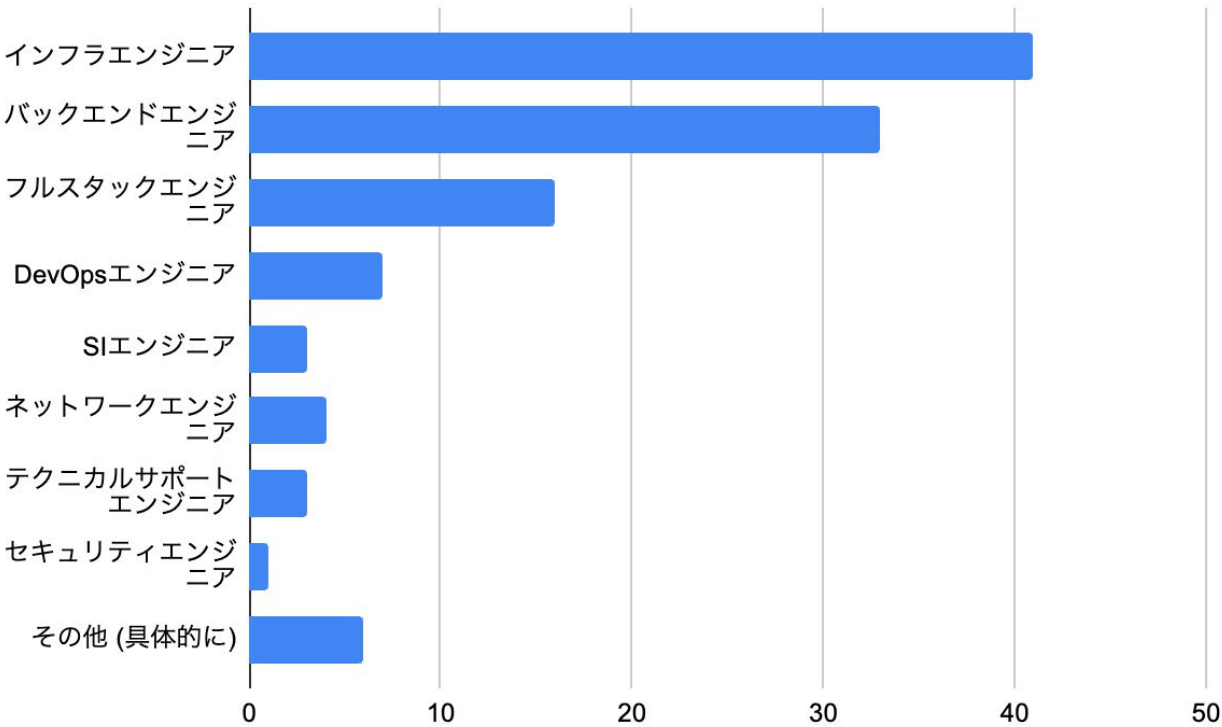
設問 現在所属している企業のタイプとして最も当てはまるものをお答えください



現職SREはインフラ経験のある方が多いものの、 67.0%はソフトウェアエンジニアの経験もあり、バックエンドから SREに転身されるケースもかなり多い。

設 問

SREになる直前の職種について、最も当てはまるものをお選びください



設 問

SREになる前に経験したことがある職種について、当てはまるもの全てをお選びください

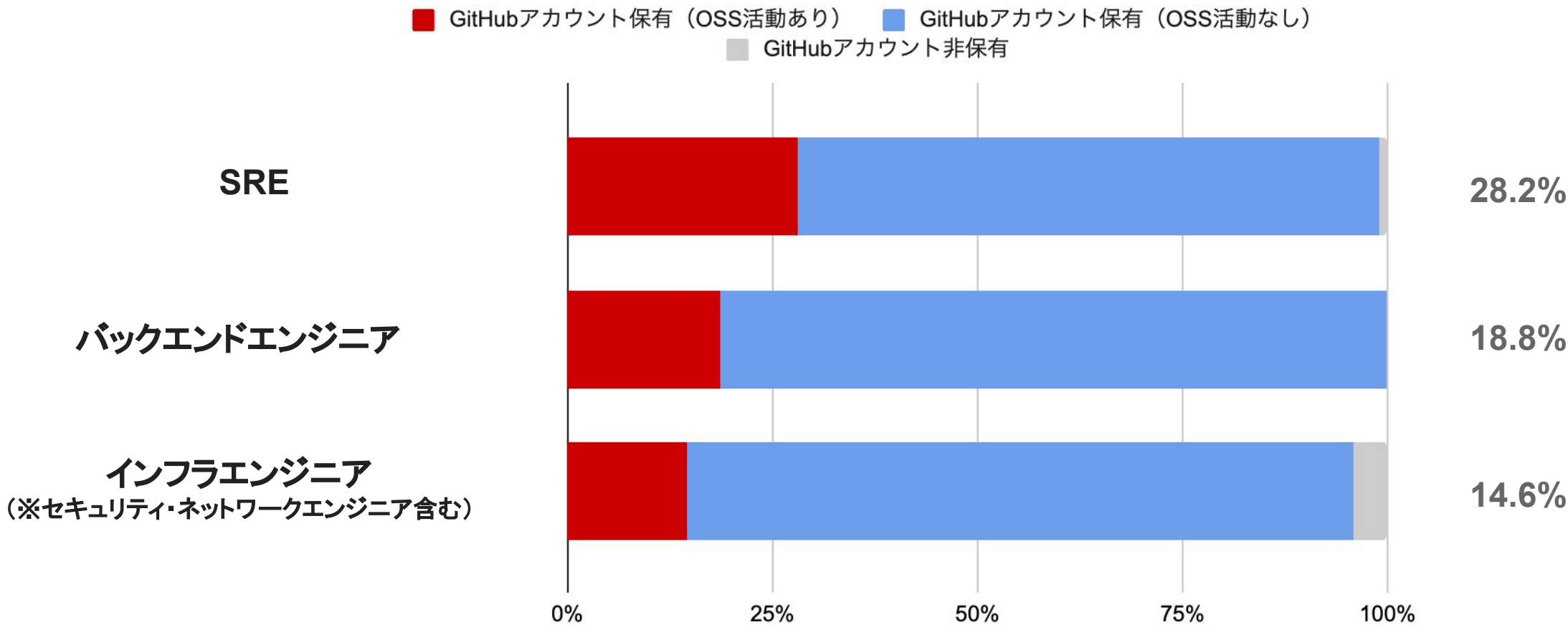
インフラエンジニア経験有無	ソフトウェアエンジニア経験有無	割合
あり	あり	46.1%
	なし	27.0%
		73.0%
なし	あり	20.9%
	なし	6.1%
		27.0%

※インフラエンジニア経験は「インフラ」「セキュリティ」「ネットワーク」「DevOps」「データベース」エンジニアのいずれかの職種の経験があると回答された方を集計
※ソフトウェアエンジニア経験は「フロントエンド」「バックエンド」「フルスタック」「iOS」「Android」エンジニアのいずれかの職種の経験があると回答された方を集計
※両方「なし」と回答された方のうち 2名は前職を「学生」と回答

SRE、インフラエンジニアともに 95%以上の方が GitHubのアカウントを保有。
ただし、OSS活動有無は約 2倍の差があり、SREの方がより積極的。

設 問

GitHubの利用について最も当てはまるものを教えてください

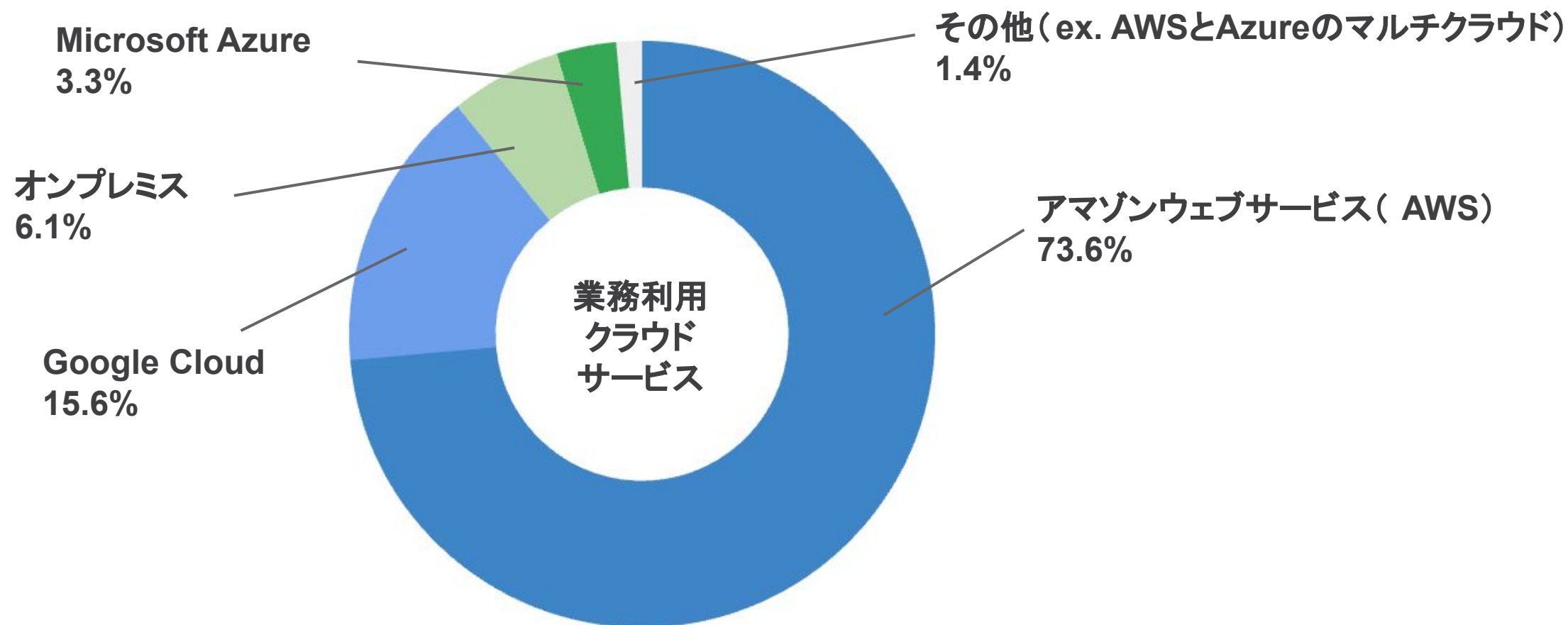


03 利用技術・環境

本調査の回答者が利用している環境としては AWSが圧倒的に多い結果に。大企業や上場ベンチャー所属者では、オンプレの利用も一定数見られた。

設 問

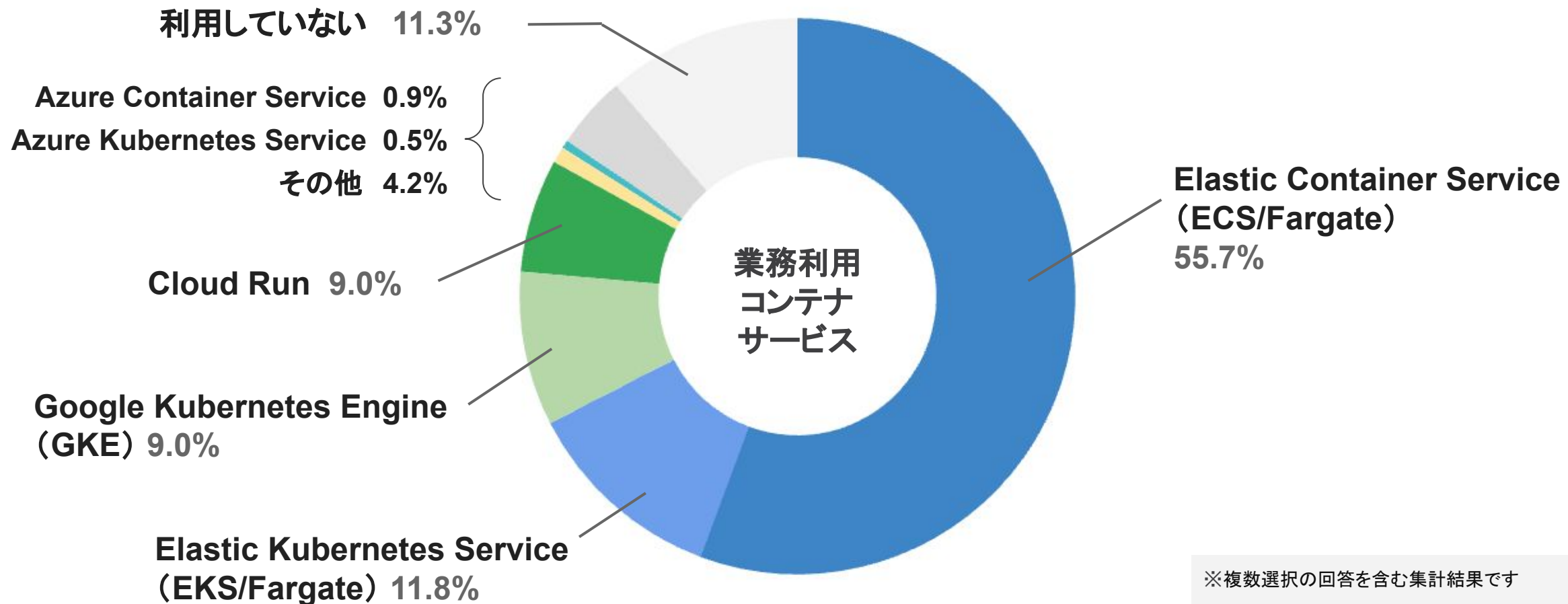
現在業務で主に利用しているクラウドサービスを教えてください



利用しているコンテナサービスは、Elastic Container Serviceが過半数を占めた。

設問

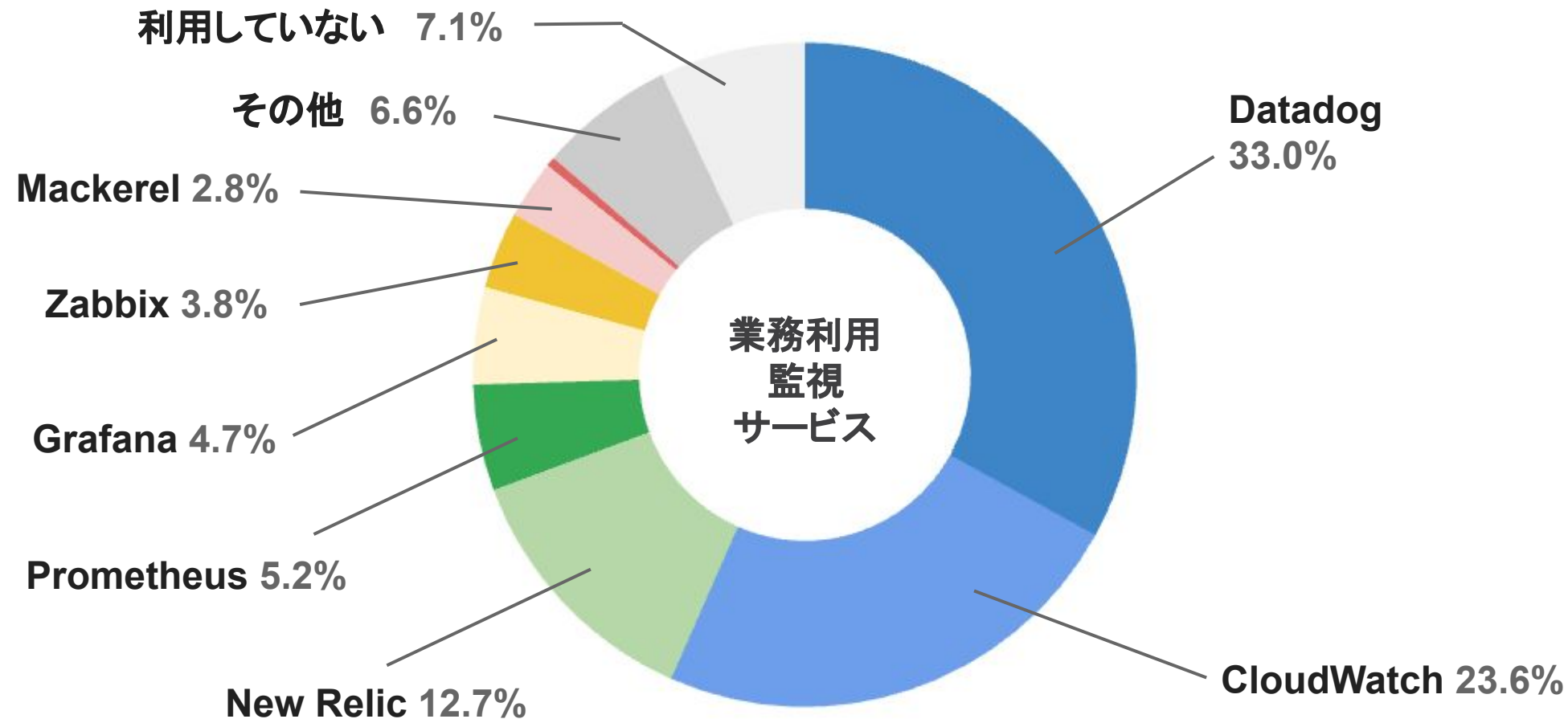
現在業務で主に利用しているコンテナサービスを教えてください



利用している監視サービスは Datadogが33.0%で最も多く、次いで CloudWatch、NewRelic が選ばれている。

設問

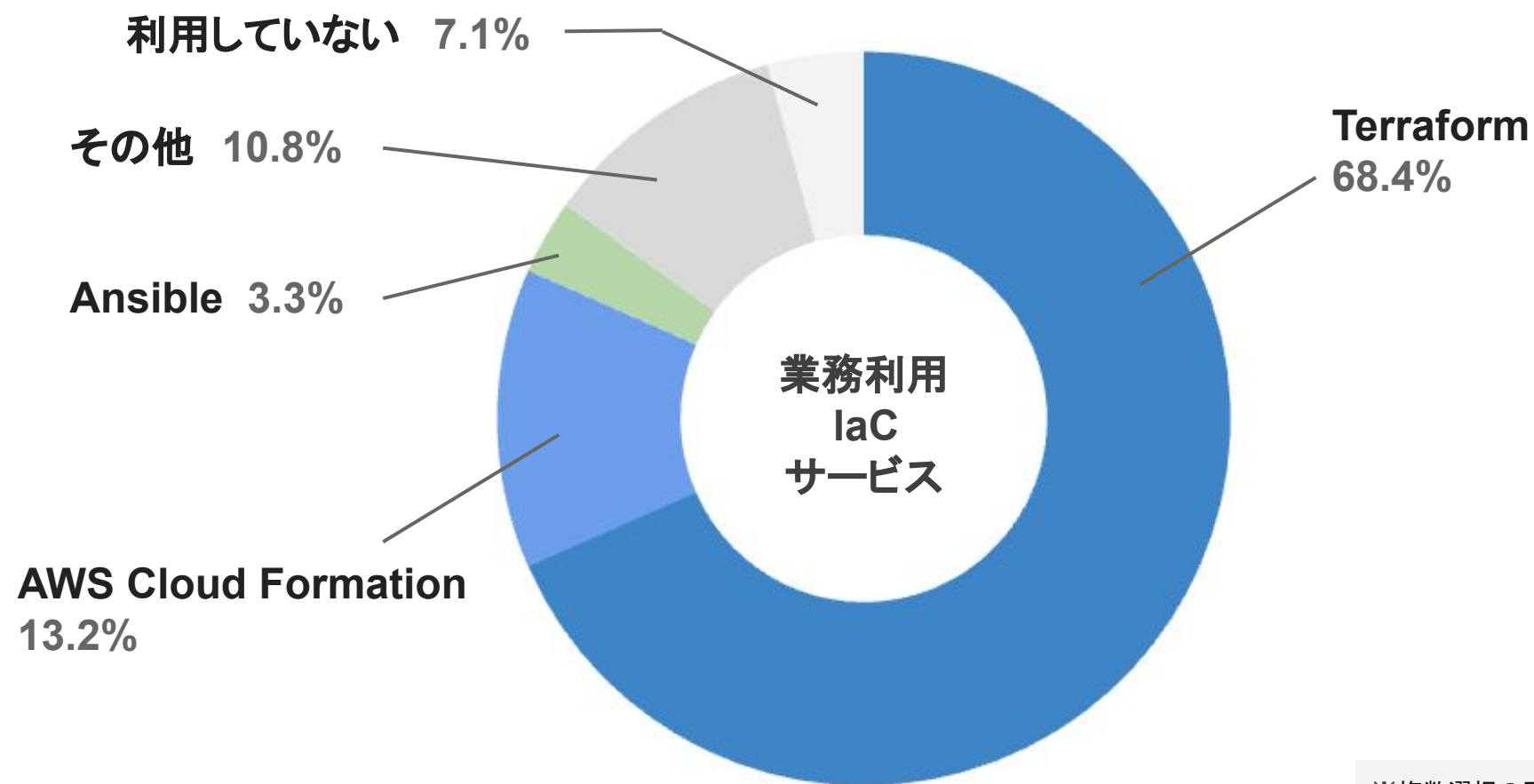
現在業務で主に利用している監視サービスを教えてください



利用している IaC サービスは Terraform が 68.4% を占め圧倒的に多く、次いで AWS Cloud Formation などが続いている。

設問

現在業務で主に利用している IaC サービスを教えてください

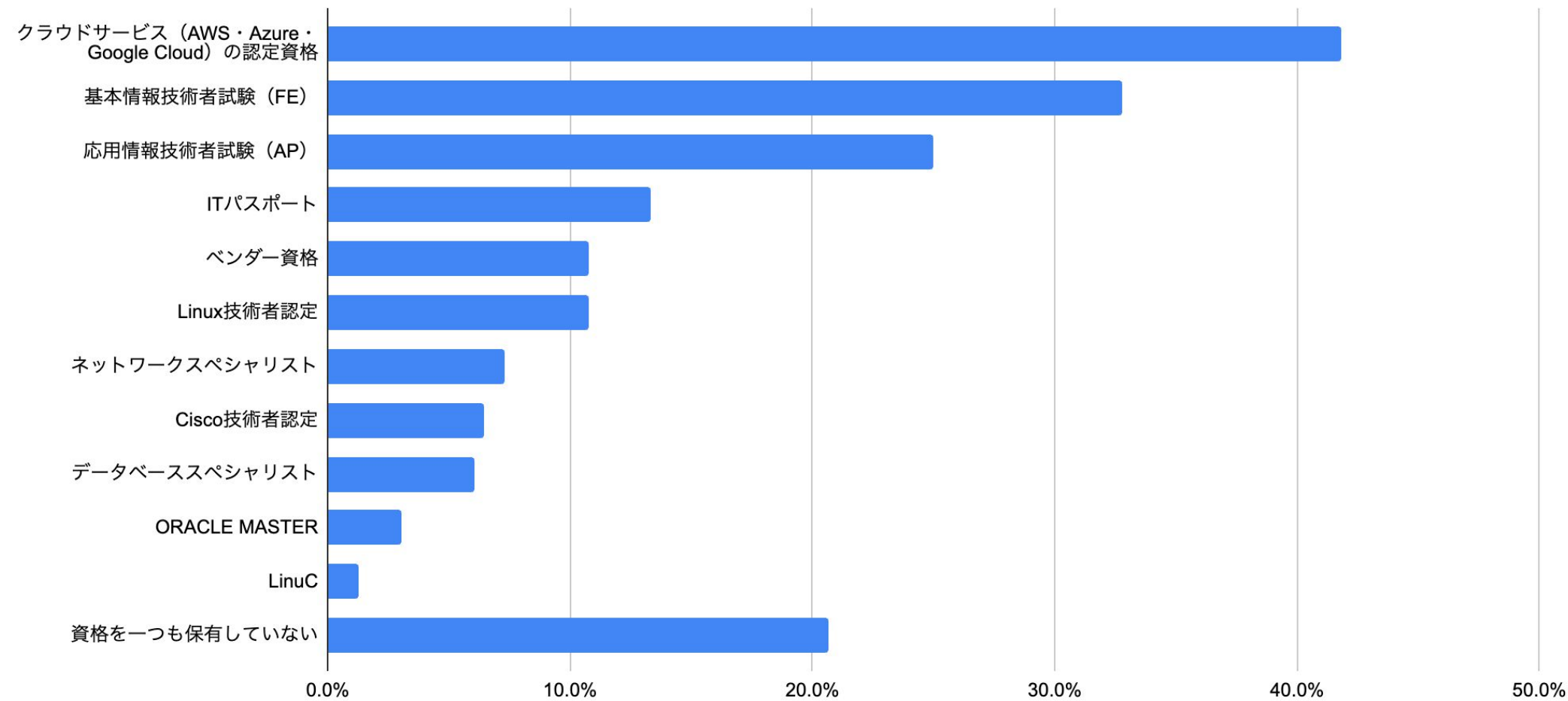


※複数選択の回答を含む集計結果です

クラウドサービスの認定資格の保有者が 4割程度と多く、次いで基本情報処理試験、応用情報処理試験までが 20%を越えた。

設 問

保有している資格として、当てはまるもの全てお選びください



「Kubernetes」や「eBPF」などインフラ領域の技術を挙げる方が多かったが、生成AIやLLMなどに関心を持つ声も同じくらいの割合で聞かれた。

設 問

現在関心がある技術を教えてください(自由回答) ※下記は自由回答を Findyにて集計したもの

- | | | | | | |
|-------------------|-----|-----|------------------|-----|----|
| ● Kubernetes | ... | 23名 | ● ライブラリ / アプリ | ... | 8名 |
| ● AI / 生成AI / LLM | ... | 21名 | ● Open Telemetry | ... | 8名 |
| ● クラウド全般 | ... | 18名 | ● Rust (言語) | ... | 7名 |
| ● データ基盤 / DB | ... | 12名 | ● Go (言語) | ... | 5名 |
| ● 開発/運用プロセス | ... | 10名 | ● CDN | ... | 4名 |
| ● eBPF | ... | 9名 | ● Wasm | ... | 4名 |
| ● IaC | ... | 9名 | ● オブザーバビリティ | ... | 4名 |

SREへの転職について、転職先の理想の組織規模としては SREが既に「2~5名」程度いる環境を望んでいるケースは多く、「1人目SRE」への人気は相対的に低い。

設問

転職先として前向きに考える企業の SRE組織タイプとして、あてはまるものを全て教えてください

		転職したい SRE組織の規模				
		0~1名規模	2~5名規模	5~10名規模	10名以上	
現在の職種	SRE	44.1%	62.2%	35.1%	24.3%	N=111
	インフラエンジニア	17.0%	35.8%	30.2%	13.2%	N=53
	バックエンドエンジニア	15.2%	33.3%	21.2%	27.3%	N=33

※インフラエンジニアは「インフラ」「セキュリティ」「ネットワーク」エンジニアの合計を記載
※未回答ならびに「当てはまるものはない」を選択した対象については上記集計から除外しています。

04 キャリア・転職活動

SREは「現職種の技術研鑽」を直近の目標におく方が多く、インフラエンジニアは他職種への挑戦を目標に置く傾向が年齢を問わず見られる。

設問 直近1~2年のキャリア方針について、最も当てはまるものを教えてください

※N数が少ないため参考値

		現職種の技術 を磨き極める	職位を上げる	職種の拡張・ 変更をする	未回答	
SRE	20代	46.7%	16.7%	16.7%	20.0%	N=30
	30代	41.8%	16.4%	30.9%	10.9%	N=55
	40代以上	53.6%	14.3%	14.3%	17.9%	N=28
インフラ	20代	25.0%	8.3%	33.3%	33.3%	N=12
	30代	13.8%	10.3%	31.0%	44.8%	N=29
	40代以上	28.6%	7.1%	21.4%	42.9%	N=14
バックエンド	20代	45.5%	9.1%	18.2%	27.3%	N=11
	30代	26.7%	13.3%	13.3%	46.7%	N=15
	40代以上	14.3%	0.0%	42.9%	42.9%	N=7

※インフラエンジニア経験は「インフラ」「セキュリティ」「ネットワーク」エンジニアの合計を記載

SREやバックエンドが職位を上げる(マネジメント、テックリードなど)ことに関心がある 反面、インフラエンジニアの意向は相対的に低い。

設 問

今から5年後に考えているキャリアパスを具体的に教えてください(※自由回答) ※下記は自由回答を Findyにて集計したもの

※N数が少ないため参考値

		職位を 上げる	他職種に 挑戦	環境を 変える	スキルを 高める	現状に 注力	その他	なし・ 未回答	
SRE	20代以上	40.0%	10.0%	6.7%	13.3%	0.0%	3.3%	26.7%	N=30
	30代以上	32.7%	12.7%	0.0%	9.1%	3.6%	10.9%	30.9%	N=55
	40代以上	21.4%	7.1%	3.6%	7.1%	7.1%	10.7%	42.9%	N=28
インフラ	20代以上	8.3%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	41.7%	N=12
	30代以上	10.3%	3.4%	6.9%	20.7%	3.4%	0.0%	55.2%	N=29
	40代以上	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	50.0%	N=14
バックエンド	20代以上	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	45.5%	N=11
	30代以上	20.0%	6.7%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	46.7%	N=15
	40代以上	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%	N=7

※インフラエンジニア経験は「インフラ」「セキュリティ」「ネットワーク」エンジニアの合計を記載

5年後のキャリアプランに関する自由回答(一部抜粋)

設問

今から5年後に考えているキャリアパスを具体的に教えてください(※自由回答)

■「職位を上げる」

- SRE としての活動を継続し、自社開発サービス全体の運用たるやを体系的にインプットした上で、人的リソースを管理・指揮できる人材に成長する(20代・SRE)
- Kubernetes 界隈で OSS 貢献しコミュニティメンバーかつ社内では Kubernetes のリードエンジニアというポジションに就きたいです。理由としては、自分が長年使ってきた技術に還元したいという思いがあるからです(20代・SRE)
- SREとして技術を持ったテックリード寄りのエンジニアながらも発信や会社ブランディングにも価値を持つエンジニアになりたい。身につけた技術を発信することで多くの人にスキルを身に付けてほしいと考えてる(30代・SRE)
- エンジニアリングマネージャーとセキュリティエンジニア両輪でスキルを上げ、レイヤーを上げていく。基本的に5年は現職に留まるつもりであり、会社が変革期を迎えているので、将来的に価値のある経験ができると見込んでいるから(30代・セキュリティエンジニア)
- チームリーダーレベルのマネジメントレイヤーに関われるレベルになりたい。理由としては現状の職務だけでは年収の大きな増加は見込めないため、自分が手を動かし続けるところだけではないアピールポイントが欲しい(30代・SRE)
- エンジニア教育もしつつ、事業の方向性を理解し、エンジニア組織を技術でリードしていける存在になりたい(40代・インフラエンジニア)

5年後のキャリアプランに関する自由回答(一部抜粋)

設問

今から5年後に考えているキャリアパスを具体的に教えてください(※自由回答)

■「他職種に挑戦」

- SREのスペシャリストになり、そこからアーキテクトになるキャリアを描いている(20代・SRE)
- 外資に転職してプリセールスなどのロールに転向する(20代・SRE)
- インフラだけでなく、フルスタックエンジニアを目指し、ソフトウェア開発もできるようなる(20代・インフラエンジニア)
- SREの先を見据えてアーキテクトとしてのキャリアを考えている 優れたソフトウェアアーキテクチャが信頼性を導くと考えているため(30代・SRE)
- インフラエンジニアとSREの間には、技術力や思想面で多少差があると思いますので、まずは名実ともに SREポジションに就いてそこで技術を高め、次第に1プレイヤーとして上げられる以上の成果と生産性を求めて、TL→PM/EMとレイヤーを上げていきたいと考えています(30代・インフラエンジニア)
- プロジェクトマネージャー。情報処理技術者試験で、マネジメント分野の問題が得意で楽しいから(30代・バックエンドエンジニア)
- コーポレートITの領域まで手を伸ばす、もしくはプラットフォームエンジニアリングの方向性(40代・SRE)

5年後のキャリアプランに関する自由回答(一部抜粋)

設問

今から5年後に考えているキャリアパスを具体的に教えてください(※自由回答)

■「環境を変える」

- 異なる環境に興味があるため、ある程度経験やスキルを磨いたあとは、まだ何も整っていないベンチャーか、非常に大規模な企業か、両極端のどちらかに就職したい(20代・SRE)
- 技術的な成長が見込める限りは現職を続ける。現在の個人開発プロダクトのマネタイズに成功した場合は起業を検討する(30代・インフラエンジニア)
- ITをツールとして自分が興味があるドメインで独立する。IT人材の育成が可能な人材を育成する(30代・バックエンドエンジニア)
- 組織の拡大期の組織体制の構築や初期フェーズの立ち上げなどを行うエンジニアとなる(30代・バックエンドエンジニア)
- 直近、1人目のSRE(インフラエンジニア)としてジョインしたが、まずはSRE組織の立ち上げをする。SRE組織を任せられるようなメンバーにSREは任せ、データ組織の立ち上げをする(40代・インフラエンジニア)
- 結局は今と同じようなことをしている気がするが、外資とかもっと違う世界で戦ってみたいという野望はある(40代・フルスタックエンジニア)

5年後のキャリアプランに関する自由回答(一部抜粋)

設問

今から5年後に考えているキャリアパスを具体的に教えてください(※自由回答)

■「スキルを高める」

- インフラレイヤーはもちろん、アプリケーションについてもエラーの原因を特定し解決まで持っていけるようになりたい。 SREとしての守備範囲はインフラのみにとどまらず、またアプリケーションの知識を生かしたインフラ環境を構築したいから(20代・SRE)
- SREに関しては技術登壇等を行いながら、セキュリティに絡めた SRE活動をしている状態を目指したいと考えています。 一度自分のプロダクトでセキュリティインシデントがあってから、より自分事として考えるようになり、組織全体として醸成すべきだがあまりされない部分でもあるため(20代・フルスタックエンジニア)
- 技術力を高め OSS にコントリビュートしていきたい(30代・SRE)
- AIとうまく共存できるようにスキルセットとキャリアを調整しないと企業に必要とされなさそうなので、技術力以外にもヒューマンスキルをつけていきたい(30代・インフラエンジニア)
- GPTなどもAIが進化してきている中で、特に新規で開発したり、環境を構築(IaC)するのは、GPTなどを使って効率的に作業を進められるようになってきているので、今後もその流れになるかと思っています。 一方で、物事を推し進めるときは、人とのコミュニケーションや調整などがあり、この点については、現時点では AIではまだできることが少ないのかと考えています。 上記を踏まえて、技術とある程度のマネジメントができるような、バランスを取れるように今後もキャッチアップしたいと考えています(40代・SRE)

5年後のキャリアプランに関する自由回答(一部抜粋)

設問

今から5年後に考えているキャリアパスを具体的に教えてください(※自由回答)

■「現状に注力」

- SREポジションに特にこだわりがあるわけではないが、SREの考え方や取り組みは非常に好きなのでコミュニティ活動を続け、SREsにとっての場を提供し続けたい(30代・SRE)
- 小さい組織が好きなので、変わらず技術も触りながらプレイングマネージャーの動きになると思います(30代・SRE)
- インフラと名のつくものには関わり続けたい。その相手が人だろうがシステムだろうが。総じてプラットフォームを支えることを意識したい(40代・インフラエンジニア)
- 今もやっているがSREチーム自体の組織組成を引きつづきやりたい。また子会社も増えてきているので横断的にみたい(40代・SRE)
- インフラやSREの職でかつ現場仕事で全うかな。と考えてる。私はプロジェクトリーダー向きではない、職人気質が強いため(40代・バックエンドエンジニア)
- 引き続き、現役エンジニアとして現場で働いていたい(40代・SRE)

SREの転職手段は「リファラル」「エージェント」「ダイレクトリクルーティング」がほぼ同数。インフラと比較すると「リファラル」の比重が高いことが特徴。

設問 直近の転職において、転職決定した転職手段(媒体)を 1つ教えてください

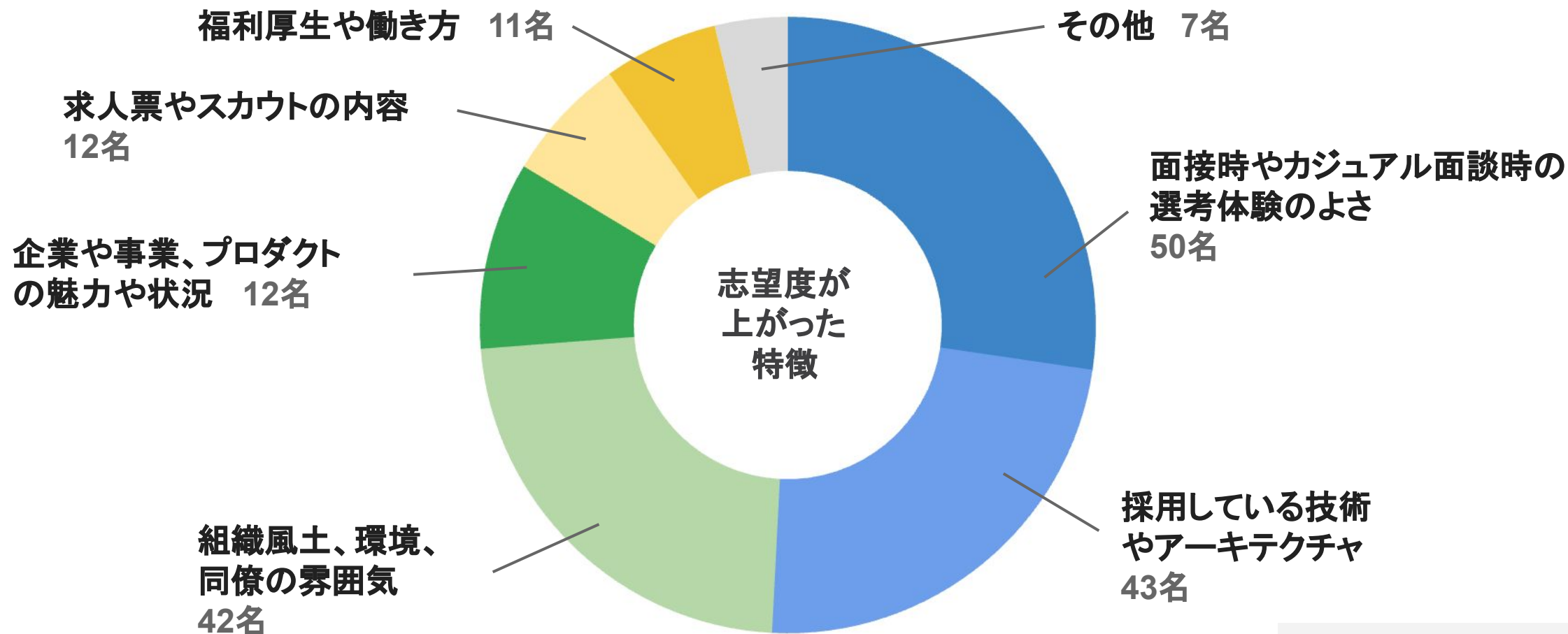
	知人・友人からの紹介 (リファラル)	転職エージェントからの紹介	ダイレクトリクルーティングサービス	転職サービス掲載求人への自己応募	企業HPからの自己応募	その他	
SRE	24.2%	23.2%	22.2%	14.1%	14.1%	2.0%	N=99
インフラエンジニア	10.9%	30.4%	21.7%	17.4%	10.9%	8.7%	N=46
バックエンドエンジニア	33.3%	25.9%	11.1%	18.5%	11.1%	0.0%	N=27

※インフラエンジニア経験は「インフラ」「セキュリティ」「ネットワーク」エンジニアの合計を記載
※未回答ならびに「その他」を選択した上で自由記述欄に「転職していない」旨を記載された回答については本集計から除外しています。

選考時に志望度が上がるきっかけは「選考体験のよさ」「採用している技術」「組織風土」がTop3となっている。

設問

カジュアル面談や求人票閲覧をする上で、魅力度合いが下がった特徴を「年収やリモート頻度などの労働条件以外」で教えてください



※未回答などについては本集計から除外しています。

おわりに

ユーザーサクセス面談のご案内



レポートの内容をさらに詳しく知りたい方は ユーザーサクセス面談をご活用ください！

Findyではエンジニアの方との面談を行い、
キャリアの壁打ちや転職支援を行っています

レポートに関連する「転職事例」「企業採用ニーズ」の解説に加え、
ご経歴を踏まえた個別のアドバイスが可能です。

面談でお話しする内容の一例

- ・言語ごとの将来性とその背景
- ・次に転職するならどの企業規模がいいか？

※転職意欲がないのに無理に転職を勧めることは一切致しません。

ユーザーサクセス面談の詳細はこちら

<https://findy-code.io/us-lp>





本レポートに関するご意見はこちら

レポートの感想や今後取り上げて欲しいテーマなど、
皆さまのご意見を募集しています。

<https://forms.gle/YBJBpvubxZm9qrNF6>